

東山魁夷館コレクション2025

1990年に開館した東山魁夷館は、画家本人から寄贈された作品に加え、後に収集した作品を含めると所蔵点数は970点あまり。開館35周年を迎える2025年度も、《緑響く》や《白馬の森》、《行く秋》など本制作30点あまりを5期に分けてご紹介します。日本の古都を描いた京洛四季や大和春秋の連作、ヨーロッパの自然や街並みを描いた風景、白い馬の見える風景や唐招提寺御影堂障壁画の準備作など、自然を深く見つめ、静謐な世界を表現した東山芸術の全容を、一年を通してお楽しみください。

I期

5/1[木]—7/21[月・祝]

東山が唐招提寺御影堂障壁画制作のため中国に取材した《瀟江暮色》、《黄山雨過》や、5月6日は東山の命日であることから、絶筆となった《夕星》をご紹介します。



《夕星》1999年

II期

7/25[金]—10/14[火]

東山の東京美術学校時代の作品《柿生の里》、《祭りの夜》、《山谿秋色》をはじめとする初期の作品や、連作「白い馬の見える風景」から《水辺の朝》と《草青む》をご紹介します。



《山谿秋色》1932年

III期

10/16[木]—12/16[火]

東山魁夷館開館35周年記念展にあわせて、連作「白い馬の見える風景」から《緑響く》、《白馬の森》の2点と同連作の習作、《秋思》、《木枯らし舞う》、《夕紅》など、世界各地の秋の景色を描いた作品をご紹介します。



《緑響く》1982年

IV期

12/18[木]—2026.2/16[月]

東山がドイツ旅行で取材し、晩秋を描いた《行く秋》や、厳しい冬の寒さを描いた《霧氷の譜》、《聖夜》のほか、冬の東北・信州に取材した《冬の旅》、《静晨》をご紹介します。



《行く秋》1990年

V期

2026.2/20[金]—5/12[火]

ドイツ・オーストリアの旅で取材した《石の窓》、《緑の窓》、《静かな町》や、厳しい冬を過ぎて暖かな春を迎える自然を描いた《春兆》、春の山に取材した《沼》などを展示します。



《沼》1993年

観覧料 | 本館・東山魁夷館共通 一般700円、大学生及び75歳以上500円

※メンテナンスのため、一方のコレクション展が休室の場合は料金の変更となります。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

ギャラリートーク | 各日14:00～
5/17[土]・9/20[土]・11/15[土]・2026.1/17[土]・3/21[土]

■ 利用案内

開館時間 9:00-17:00(展示室入場は16:30まで)

休館日 毎週水曜日(原則、水曜日が祝日の場合は翌平日)
年末年始(12/28-1/3)

観覧料 [企画展] 展覧会により料金が異なる
[コレクション展(本館・東山魁夷館共通)]
一般 700(600)円、大学生及び75歳以上 500(400)円
高校生以下又は18歳未満無料
※ 割引の併用不可
※ ()内は20名以上の団体料金及び各種割引料金
※ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
※ 大学生及び75歳以上の方は身分が確認できるものをご提示ください。
※ メンテナンスのため、一方のコレクション展が休室の場合は料金の変更となります。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

■ アクセス 長野県立美術館には一般来館者のための駐車場はありません。公共交通機関、または近隣の有料駐車場をご利用ください。城山公園駐車場をご利用の場合、観覧券のご提示により、駐車料金の割引があります。なお、併設の東山魁夷館北側の駐車場は「信州パーキング・パーミット制度」専用駐車場です。

◎公共交通機関

■バス(アルピコ交通)

JR長野駅善光寺口バス乗り場①から乗車時間約15分
[11系統] 善光寺經由宇木行、[16系統] 善光寺・若槻団地經由若槻東条行、[17系統] 善光寺・西条經由若槻東条行
いずれも「善光寺北」下車 徒歩3分

[10系統] 善光寺行(びんずる号)「善光寺大門」下車 徒歩10分(土日祝日は「城山公園前」下車 徒歩1分)

■鉄道(長野電鉄)

「善光寺下駅」下車 徒歩15分



※諸般の事情により、展覧会やイベントの内容などに変更が生じる場合があります。最新情報については当館ホームページをご確認ください。

長野県立美術館

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4(城山公園内・善光寺東隣)
TEL.026-232-0052 FAX.026-232-0050
https://nagano.art.museum/

最新情報をチェック!



日本語



English

プラチナパートナー 信濃毎日新聞

MUSEUM CALENDAR

2025.4 — 2026.3



長野県立美術館

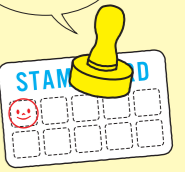
子どもアートラボ

絵の具や粘土、木材などの身近な素材を用いた月1回のワークショップです。

2025年4月-2026年3月までの
毎月第2土曜日 10:00-15:00

対象 | 3歳以上の子どものみから大人までどなたでも
※ワークショップの内容は毎月変わります。

スタンプを
あつめよう!



びじゅつが探検隊

展示室や美術館内で行う、対話による鑑賞プログラムです。気になったこと、感じたことをみんなでおしゃべりしながら楽しみましょう。

2025年5月-2026年3月までの
奇数月第4土曜日

●子ども探検隊 10:00-11:00

対象 | 小学生以下の子どもとその保護者

●おとな探検隊 14:00-15:00

対象 | 中学生から大人までどなたでも

※対象の展覧会は毎回変わります。



各イベントの申込み方法や詳しいイベント情報は当館ホームページをご確認ください。

■交流展

県内各地域の美術館と共に、双方のコレクションを活用し、協働で企画・立案・実施する展覧会です。地縁ある作家たちの作品を中心に展示し、各館の特色を打ち出すことで、地域の魅力を改めて感じていただくと同時に、学芸員の交流を通じて、県内美術館との連携を深める機会としています。

長野県立美術館交流名品展

中信ゆかりの芸術家と北アルプスの山々・ 山麓風景画展

北アルプス展望美術館(池田町)との共同開催となる本展では、両館のコレクションから中信地方ゆかりの作家や北アルプスの山々、山麓の風景を描いた作品を中心にをご紹介します。



矢崎重信
《『信濃の子供』原画6 安曇野の田植》1943年

2025年11月1日[土]—12月10日[水]

休館日 | 月曜日

(月曜日が祝日の場合は翌日)

会場 | 北アルプス展望美術館

観覧料 | 一般600(500)円

高大生450(350)円、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

※障害者手帳をお持ちの方は、ご本人・同伴者1名まで半額

■移動展

長野県立美術館では、当館のコレクションをより多くの方にご鑑賞いただくため、1979(昭和54)年から県内各地の自治体・施設からの公募により「移動展」を開催しています。2025年度は、中川村と伊那文化会館を会場にして開催します。

① 2025年度長野県立美術館移動展in中川村

アンフォルメル中川村美術館の特徴にあわせて、長野県にゆかりのある現代美術のすぐれた作品をご紹介します。

2025年10月18日[土]—11月10日[月]

休館日 | 火・水曜日 会場 | アンフォルメル中川村美術館 観覧料 | 無料

② 2025年度長野県立美術館移動展in伊那文

NAMコレクション2025より、第1期の出品作を中心に展示します。

2025年10月25日[土]—11月16日[日]

休館日 | 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)

会場 | 長野県伊那文化会館 美術展示ホール

観覧料 | 一般500(400)円、大学生・75歳以上300(200)円、

高校生以下又は18歳未満無料

※()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

	2025 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026 1月	2月	3月	4月			
展示室1	6	25	29		19	15	4	16	29	18		7	12			
展示室2	信州から考える 絵画表現の50年	鈴木敏夫とジブリ展			いきものの森		東山魁夷館開館35周年記念展 東山魁夷 永遠の海 私は、いま、波の音を聴いている		Keizo Kitajima: A Retrospective			トーベとムーミン展 ~とっておきのものを探しに~				
展示室3																
コレクション展示室	NAMコレクション2024 第V期	6 8	NAMコレクション2025 第I期		28	2	NAMコレクション2025 第II期		7 11	NAMコレクション2025 第III期		9 11	NAMコレクション2025 第IV期			
アートラボ	13	19	2025第I期 中ハシクシゲ		6	12	2025第II期 金箱淳一		5	2025第III期 西村陽平		12	17	2025第IV期 富長敦也		
オープンギャラリー		2024第IV期 光島貴之		28	公開制作 vol.5 古橋まどか				28	29 「Keizo Kitajima: A Retrospective」関連展示		18				
東山魁夷館	2024 第V期	29 1	2025 第I期		21 25	2025 第II期		14 16	2025 第III期		16 18	2025 第IV期		16 20	2025 第V期	
																5/12

企画展

鈴木敏夫とジブリ展

2025.4/25[金]—6/29[日] 会場|展示室1・2・3

観覧料|日時指定予約制
[平日]一般1,600円、中学生1,300円、小学生800円
[土日祝]一般1,800円、中学生1,500円、小学生1,000円

高畑勲・宮崎駿両監督と共に、数々のアニメーション映画を世に送り出してきたスタジオジブリのプロデューサー・鈴木敏夫。本展では、鈴木が時代を駆け続けるなかで出会った映画や書籍にも注目して、ジブリ作品の秘密を紐解きます。



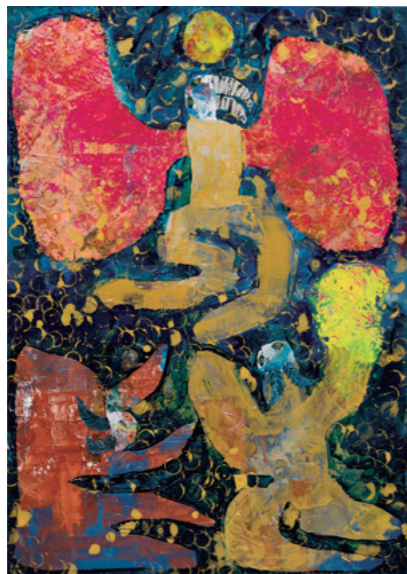
©2022 Hayao Miyazaki/Toshio Suzuki

いきものの森

2025.7/19[土]—9/15[月・祝] 会場|展示室1・2・3

観覧料|一般1,000円、大学生・75歳以上800円、高校生以下又は18歳未満無料

わたしたちの周りは、人間や動物、植物など、たくさんの「いきもの」であふれています。本展では、大曾根俊輔、岡江真一郎、田中彰、富岡奈津江、富田菜摘、ミロコマチコによる、立体、イラスト、アニメーションなど、様々な方法で表現された「いきもの」たちが登場します。いきものの森に入り、いきものが住む世界を探検してみましょう。



ミロコマチコ《月夜のおどり》2023年

東山魁夷館開館35周年記念展 東山魁夷 永遠の海 私は、いま、波の音を聴いている

2025.10/4[土]—11/16[日] ※一部展示替えあり 会場|展示室1・2・3

観覧料|一般1,700円、大学生1,300円、高校生以下又は18歳未満無料

2025年に東山魁夷館は開館35周年を迎えます。本展では、唐招提寺御影堂障壁画と並ぶ代表作《朝明けの潮》の大きな下図を初公開します。大きな下図は6面に分割され、縦約4メートル、つなげると横約15メートルにもなる大作です。東山魁夷が手掛けた皇居宮殿壁画《朝明けの潮》の制作過程や画家が描いた日本の風景をご紹介します。



東山魁夷《朝明けの潮 色分け大下図》1967年

Keizo Kitajima: A Retrospective

2025.11/29[土]—2026.1/18[日] 会場|展示室1・2・3

観覧料|一般1,000円、大学生・75歳以上800円、高校生以下又は18歳未満無料

須坂市出身の写真家・北島敬三(1954-)。本展では、キャリア初期の「東京」「沖縄」「ニューヨーク」「東欧」「旧ソ連」などのスナップショットから、近年の「Portraits」「Untitled Records」までを網羅するとともに、北島が主宰するギャラリーでの活動や、重要な作品発表の場として機能した雑誌などの関連資料も取り上げながら、写真をめぐる作家の実践をご紹介します。



北島敬三「NEW YORK」より 1981-1982/2024年 Courtesy of the artist ©KEIZO KITAJIMA

トーベとムーミン展 ~とっておきのものを探しに~

2026.2/7[土]—4/12[日] 会場|展示室1・2・3

観覧料|一般1,800円、中学生1,100円、小学生700円

ムーミンの生みの親で、多方面に才能を発揮したアーティスト、トーベ・ヤンソン(1914-2001)。初期の油絵、第二次世界大戦前後の風刺画、ムーミン小説・コミックスの原画やスケッチ、そして愛用品など約300点を通して、トーベの創作の世界と、人生が色濃く反映されたムーミンシリーズの魅力に迫ります。



トーベ・ヤンソン 《ムーミンたちとの自画像》1952年 ムーミンキャラクターズコレクション ©Moomin Characters™

オープンギャラリー

観覧料|無料

公開制作vol.5 古橋まどか

2025.6/28[土]—9/28[日]

来訪先や、自身の庭で採集した土や石などの自然物のほか、映像などを用いて、時の経過と共に失われるものへ眼差しを向けた制作を手掛ける古橋まどかを招へいます。



古橋まどか《五風十雨》2024年

「Keizo Kitajima: A Retrospective」関連展示

2025.11/29[土]—2026.1/18[日]

「Keizo Kitajima: A Retrospective」のスピノフ展示として、企画展とは異なる視点から写真家・北島敬三の活動をご紹介します。

アートラボ2025



金箱淳一《音鈴—信濃》2021年

視覚以外の感覚もつかった鑑賞が可能な作品を展示する「アートラボ」。誰でも立ち寄り、新たな発見が生まれる場となることを目指しています。触れて、見て、聴いて、アートを楽しんでみませんか。

NAMコレクション2025

信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された長野県立美術館のコレクションから、一年を通して、洋画、日本画、工芸等さまざまなジャンルの収蔵品を展示します。

会場|コレクション展示室
観覧料|本館・東山魁夷館共通 一般700円
大学生・75歳以上500円

※メンテナンスのため、一方のコレクション展が休室の場合は料金に変更となります。詳しくは当館ホームページをご覧ください。



河野通勢《裾花川の河柳》1915年

I期 5/8[木]—7/28[月]

II期 8/2[土]—10/7[火]

国立美術館 コレクション・プラス マルセル・デュシャン+松澤宥一 オブジェの誕生と消滅一

既製品を作品として提示し、オブジェという概念の展開に大きく寄与したマルセル・デュシャンと、「オブジェを消せ」という啓示を受け、観念美術の先駆者となった松澤宥一。本展では京都国立近代美術館所蔵のデュシャン作品を借用し、オブジェをめぐる諸相を探ります。



マルセル・デュシャン《泉》1917/1964年 京都国立近代美術館蔵 © Association Marcel Duchamp / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2024 E5832

III期 10/11[土]—12/9[火]

IV期 12/11[木]—2026.2/24[火]

V期 2026.3/13[金]—5/19[火]

ギャラリートーク|各日14:00~ 6/21[土]・8/16[土]・10/18[土]・12/20[土]

観覧料|無料

第I期 中ハシクシゲ 4/19[土]—7/6[日]

第II期 金箱淳一 7/12[土]—10/5[日]

第III期 西村陽平 10/11[土]—2026.1/12[月・祝]

第IV期 富長敦也 2026.1/17[土]—4/12[日]